

2024年はうるう年で、先月は29日までありました。案の定、ネットワークの障害や免許更新が一時できないという障害がありましたが、すぐに復旧してほっとしました。

女子サッカーがパリオリンピック出場を決めたかと思いきや、ドジャースの大谷選手がホームランを打ち、その余韻に浸る間もなく「結婚」というニュースでにぎわうなかで、3月という「別れ」の季節となりました。2024年も、もう2か月が過ぎました。この時間は有意義で充実していましたか？どのように過ごしてきたのか、ちょっと考えてみるのもよいかもかもしれません。年度替わり（別れと出会い）の時期だからこそ、次のステップに進むために必要なことは何か、考えることができるとよいです。

最近とても気になっている言葉を

私の人生、主人公は 。

先月は写真撮影を失念していましたので、今月はちょっと多めに掲載します。

外の業務が困難な時は



室内での業務を行います。授業で使われていない時を選んでの作業なので、時間に追われることもあります。また、除草作業とは内容も道具も異なりますので、注意して取り組むようにしています。バルコニーや階段状の教室での作業は、高さや段差も考慮して作業に取り組み、声掛けをして安全にできるように心がけています。

備品整理・廃棄

備品を廃棄するために、分解して分別したり、小さくして燃えるごみとして処分するために、支援員と作業内容を分担して取り組んだりもしました。



冷たい風に負けずに



暖冬といわれても風は冷たく寒いです。でも、スタッフはポーっとすることなく、作業に取り組んでいます。

